

	課題・実習の提出先: manaba 「レポート」	実習・課題: 提出物のファイル形式に関する一般的注意
<p>#14 ファイルシステムのプログラミング 実習・課題内容 2022 年度 / プログラミング及び実習 III</p> <p>角川裕次 龍谷大学 先端理工学部</p> <p>1 / 10</p>	<p>manaba「レポート」の今回の提出先へ提出のこと</p> <p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ファイル名は指定の通りにすること ■ ファイル形式は指定の通りにすること ■ 守られていない場合は採点しない場合がある (採点作業の軽減への協力を宜しく) <p>2 / 10</p>	<p>C 言語ソースコード (プログラムコード)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ファイル形式: C ソースファイル (.c; ファイルそのもの) ■ (不可: スクリーンショット画像や Word に流し込んだものなど) <p>実行結果スクリーンショット画像</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ファイル形式: 画像ファイル形式 (.jpeg や .png など) ■ スクリーンショット取得ツールを使用のこと. ■ (不可: デジカメによるディスプレイ撮影画像) <p>考察文章: プログラム及び実行結果に対する説明と考察</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ファイル形式: テキストファイル (.txt) ■ 指定文字数以上の「説明と考察」を書くこと. ■ 講義で学んだ C 言語の機能とからめて説明 ■ (不可: Word や PDF など) ■ (不可: ソースコードの「朗読」. 「朗読」は説明や考察でない) <p>3 / 10</p>
	実習 A	実習 B
<p>実習</p> <p>4 / 10</p>	<p>今回の講義資料で紹介した fstatus.c の理解・入力・実行・動作確認</p> <p>ただしファイル名は j14a.c として下さい (提出用)</p> <p>提出物: 以下のファイル名で提出のこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ j14a.c (C 言語ソースコード) ■ j14a (実行結果スクリーンショット; ファイル拡張子は適宜) ■ j14a.txt (説明と考察 300 文字以上), <p>5 / 10</p>	<p>今回の講義資料で紹介した files.c の理解・入力・実行・動作確認</p> <p>ただしファイル名は j14b.c として下さい (提出用)</p> <p>提出物: 以下のファイル名で提出のこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ j14b.c (C 言語ソースコード) ■ j14b (実行結果スクリーンショット; ファイル拡張子は適宜) ■ j14b.txt (説明と考察 300 文字以上), <p>6 / 10</p>

実習 C		課題
<div data-bbox="159 392 739 564"><p>今回の講義資料で紹介した <code>dirlist.c</code> の理解・入力・実行・動作確認</p><ul style="list-style-type: none">■ さらに：ファイル情報も表示する改造をする<p>ただしファイル名は <code>j14c.c</code> として下さい (提出用)</p></div> <p>提出物: 以下のファイル名で提出のこと</p> <ul style="list-style-type: none">■ <code>j14c.c</code> (C 言語ソースコード)■ <code>j14c</code> (実行結果スクリーンショット; ファイル拡張子は適宜)■ <code>j14c.txt</code> (説明と考察 300 文字以上), <div data-bbox="723 772 768 794">7 / 10</div>	<div data-bbox="916 520 965 549">課題</div> <div data-bbox="1395 772 1440 794">8 / 10</div>	<div data-bbox="1509 529 1541 549">なし</div> <div data-bbox="2069 772 2114 794">9 / 10</div>
<div data-bbox="421 1034 470 1053">おわり</div> <div data-bbox="716 1281 768 1303">10 / 10</div>		